

オニト交配

優等生
YŪTŌSEI

晩抽性が高い
低温でも肥大する
肉質緻密で高品質

優等生 だいこん

YŪTŌSEI

三季蒔ができるニュータイプ

栽培の要点

特 性

形 状

- ①根径7.5cm、根長36～38cm、根重1.2kg前後。
- ②尻つまりの良い青首総太。
- ③葉は濃緑で半立性の小葉。

品 質

- ①肌の光沢がよく純白で美しい。
- ②肉質が緻密で味がよい。

生 態

- ①イオウ病・ウイルス病に強く、高温期の生理障害の発生が少ない。
- ②秋系の品質を持つ品種群の中では晩抽性が高く安定しているので、春系と夏系のつなぎの作型で、より品質の良いものを生産できる。
- ③生育中～後期に低温期を迎える作型においても安定した肥大をし、下葉の黄化等の生理障害はほとんど発生しない。

作型とポイント

- 3～6月播種の場合、後半の肥大が良いので施肥量は10～20%減らす
- 収穫遅れにならないように注意する。
- 9月中旬～10月中旬播種の場合は小葉系統なので、10～15%施肥量を多くする。
- 9月蒔きの場合収穫までの日数が健勇より7～10日多くかかるので、この2品種を同時蒔きして順次収穫を行うことが可能である。



栽培適期表

栽培型	月											
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
暖地・露地 マルチ・トンネル ハウス	○	—	—	■				○	○	■	■	■
中間地・露地 トンネル・マルチ	○	○	○	■				○	○	■	■	■
高冷地 冷涼地				○	○	■		○	○	■		

播種 ○ — 収穫 ■